

LAW100 法学概論

1年 3,4クォーター

担当教員 生駒 俊英

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 該当しない

単位数 2

曜日・時限 水曜日・2時限

授業概要

法学概論の講義では、「法学」について全くの初心者 of 学生を対象に進められる。まず初めに、法の役割等について身近な例を取り上げつつ説明がされる。その上で、法の種類や裁判所の制度等、広く法に関連する事柄を学ぶ。また講義では、裁判所へ見学に行き、講義で習ったものを実際に見聞きすることにより、さらに理解を深める。そして、最終的には法的思考が少しでも身につくよう、また法に関心を持てるようにする。

到達目標

- (1) 社会における法の役割を理解する。
- (2) 法の体系及び法に関する基礎的な知識を理解する。
- (3) 法的なものの考え方に慣れる。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

教科書

末川博編『法学入門』（有斐閣双書）

参考書

講義の中でその都度紹介することとする。

授業の方法

講義形式で進める。

黒板を使いながら説明を加える。

内容によっては、学生に意見を求めつつ講義を進める。

成績評価

授業の中で2回程レポートの提出を求める。

学期末試験を行う。

成績

20% レポート

80% 学期末試験

授業スケジュール

第1回:オリエンテーション

講義予定、講義内容、授業の進め方等の説明。

第2回:法とは何か(1)

社会規範としての法の役割、他の社会規範との違いについて学ぶ。

第3回:法とは何か(2)

法の種類、様々な分類、法の体系について学ぶ。

第4回:法の発展

社会の発展とともに法がどのように発展してきたかを学ぶ。

第5回:法と裁判(1)

日本の裁判制度(裁判員制度を含む)について学ぶ。

第6回:法と裁判(2)

裁判員制度に関する視聴覚資料を用い、理解を深める。

第7回:法と裁判(3)

裁判所見学を行う。第1回レポート提出。

第8回:裁判の基準

裁判の際に基準となる法源について学ぶ。

第9回:法の解釈

法的三段論法について学び、解釈について具体例にふれつつ学ぶ。

第10回:視聴覚教材を用いた講義

弁護士の仕事について、視聴覚資料を用いて学ぶ。また視聴後にはそれぞれの感想をレポートにして提出してもらう。第2回レポート提出。

第11回:実生活における法

実生活における法として、身近なシステムとして法テラスの担当者から法テラスの概要等について学ぶ。

第12回:最近の事例から(1)

最近の法的な問題を取り上げて、議論を行うこととする。

第13回:最近の事例から(2)

最近の法的な問題を取り上げて、議論を行うこととする。

第14回:最近の事例から(3)

最近の法的な問題を取り上げて、議論を行うこととする。

第15回:全体のまとめ

これまで学習した事を復習し、質問時間を設け理解を深める。

事前・事後学習

- ・予習:教科書の該当する章を一通り読んでくることが望ましい(30分)。
- ・復習:講義で作成したノートを見直し、疑問点について教科書・参考書から理解し、ノートにまとめる(1時間)。